

本日ここに、令和5年第6回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私は概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

はじめに、去る10月31日にご逝去されました、故山本公一氏に対しまして一言お悔やみを述べさせていただきます。

山本氏は、平成5年の初当選以来、9期28年にわたり衆議院議員をお務めになり、この間、環境大臣、総務副大臣や所属政党の要職を数多く歴任され、更に、地元南予地域の発展のため、様々な分野でご尽力を賜りました。本市におきましては、四国電力伊方発電所の安全対策を始め、四国南西部における物流・防災港としての役割を果たす「八幡浜港再整備事業」や命の道・地方創生の道である「大洲・八幡浜自動車道」の早期整備など、本市の発展のため多大なるお力添えを賜りました。ここに、衷心より感謝の誠を捧げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、12月に入り、いよいよ冬の季節を迎えようとしています。

振り返ってみますと、今年の夏は、7月後半から8月にかけて猛暑となり、「日本の夏の平均気温は統計開始以降最高を記録した」と気象庁から発表されるほど、厳しい暑さでした。また、記録的猛暑は世界規模の問題でもあり、国連のグテーレス事務総長は「温暖化は終わり地球沸騰化の時代が到来した」と警告し、地球温暖化に対する危機感を強めています。

また、今年は台風が少なく、秋雨前線の活動も弱かったことから、9月・10月は平年の10%台の雨量しかありませんでした。そのため、本市の主な水源である地下水や野村ダムの貯水率が平年と比べて低下しており、現在、防災行政無線により、市民の皆様に対し節水へのお願いを呼び掛けているところです。12月4日正午時点での、野村ダムの貯水率は35.5%となっております。このまま少雨傾向が続くと水不足が発生し、市民生活にも大きな影響を及ぼす恐れがあるため、日常生活での節水を心がけていくことが大切です。引き続き、節水にご協力いただき、地域全体で水資源を大切に活用していきましょう。

本市におきましては、1月、改正民法の施行により、成人年齢が「18歳」に引き下げられましたが、これまでの「成人式」と同様、式典の対象年齢は「20歳」とし、新

たに「二十歳のつどい」として、人生の節目を迎えた参加者の皆様を祝う式典を開催しました。3月25日には、待望の「八幡浜道路」が開通したことで、車の流れが変わり、市内中心部の渋滞が大きく緩和されました。引き続き、「夜昼道路」、「大洲西道路」の早期整備について強力に要望活動を行っていくとともに、新しいバイパス道路開通の効果をこれからのまちづくりに最大限活かしていきます。

また、3月28日には、名誉市民称号贈呈式及び市政功労者等表彰式を「コミカン」で開催し、本市で育ち、国や地域の発展のために尽力された、前愛媛県知事の故加戸守行氏に名誉市民称号を贈呈したほか、各分野で市政に多大な貢献をされた4名の方と4団体に市政功労者の表彰をしました。さらに、八幡浜市民輝き大賞として、「第23回シーフード料理コンクール」の「魚活チャレンジ部門」において農林水産大臣賞を受賞された川之石高校の西村侑真さんを表彰しました。今年は、9月に「世界マスターズ水泳選手権2023九州大会」の「75～79歳男子200m平泳ぎ」において優勝された宇都宮繁秋さん、11月に「燃ゆる感動かごしま国体」の「陸上成年男子110mハードル」において優勝された野本周成さんも八幡浜市民輝き大賞として表彰しました。

7月には「ゆめみかん」で、4年ぶり3作目となる市民ミュージカル「激動の力士前田山」を上演しました。総勢83名の市民キャストたちが、心を一つにして生き生きと演技を披露し、素晴らしい舞台となりました。今年度、八幡浜市文化会館「ゆめみかん」は開館25周年を迎え、春から様々な記念イベントを実施してきました。年明けにも「Y a w a t a h a m a みかん J a z z 2 0 2 4」と「吉本新喜劇」の公演を予定しています。

「Y a w a t a h a m a みかん J a z z 2 0 2 4」は、平成26年から昨年まで愛南町で開催していた「J a z z i n 四国（愛南町）」を本市で引き継ぐこととなり、来年1月21日に、日本を代表するジャズミュージシャンによる豪華なステージとして初開催予定となっています。

「ゆめみかん」では、これからも市民の皆様に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供できるよう、様々な文化芸術イベントを実施していきたいと考えていますので、多くの皆様にご来場いただければと思っています。

10月には高齢者によるスポーツ・文化交流の大会「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」が愛媛県内各市町で開催され、本市で開催したカローリングでは市内のチームが3位と好成績を収めました。ほかにも、ソフトボールは県代表として出場した八幡浜のチームが優勝、県代表に本市の選手も選出された剣道の団体も優勝、個人種目でも多くの本市参加選手が活躍しています。

そのほか、八幡浜高校陸上部女子が連覇の重圧を跳ね除け全国高校駅伝の県予選で17連覇を達成し、全国大会への出場権を獲得、八幡浜工業高校も、ロボット競技の「W R O 2 0 2 3 パナマ国際大会」に出場し健闘されました。このように今年は、市民が活

躍した年であったと思います。これまでコロナ禍での自粛生活により蓄積していたエネルギーを一気に放出するような市民の活躍は、私たちに大きな感動と希望を与えていただき、我がふるさと八幡浜に誇りと愛着を感じるところであります。

また、今年は、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスによるガザ地区での軍事衝突、緊張する朝鮮半島など2023年は「戦争の年」と言われています。このような世界情勢の中、10月には、日台共栄首長連盟台湾訪問団の一員として台湾を訪問し、多くの交流活動を展開してきました。訪台中、蔡英文総統と面会しお話をする貴重な機会もあり、現在の台湾の情勢や、中国との複雑な関係による憂慮すべき事態など、肌で感じる事ができたとても有意義な経験となりました。

訪問団での公式行事のほか、限られた時間の中でしたが令和3年度から川之石高校と交流のある国立中山大学の表敬訪問、来年2月に台北市で開催する「愛媛やわたしはまフードフェア」や世界大会としての認識を強めるため名称を変更した「ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバルinJapan」の協議を関係機関と実施するなど精力的に活動し、新しいアイデアや貴重な人脈を築くことができました。今回の訪台での成果を活かし、今後の本市と台湾との交流を深化させていきたいと考えています。

次に、長期化する物価高の影響についてです。先般、閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」及びその裏付けとなる国の補正予算を踏まえ、物価高に苦しむ生活者・事業者に対し、迅速かつ適切な対応を講じていくことが必要であると考えております。そのため、現在、低所得世帯への支援策を中心とする追加の補正予算案について編成中で、今議会中の追加提案を予定しています。

あわせて、現在、10月30日に令和6年度予算編成方針を通知し、新年度予算編成作業に着手しています。

令和6年度は、私にとりまして4期目総仕上げの年であり、目指すべき将来像として掲げた「50年先を見据えたまちづくり『わくわくする八幡浜』の実現」への対応、エネルギー価格・物価高騰対策、人口減少・少子化対策、GX・DX関連事業を重点施策とする予算編成を行っていきます。

それでは、今回提案の12月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「新時代に対応したまちづくり」についてであります。

本日の市議会協議会で説明を予定しています「四国電力跡地プロジェクトに係る用地取得の進捗状況について」は、売買価格の目安となる不動産鑑定評価額について、相手方であります四国電力送配電株式会社より提示があったことから、契約締結に必要な債

務負担行為を補正予算で設定します。土地の引き渡しは、解体工事完了後の来年4月以降を予定しています。跡地の利用についても、市民アンケート調査の結果をもとに、引き続き、市民ニーズの高い飲食店の誘致に努めていきます。

また、現在、戸籍には氏名の振り仮名の記載がありません。そのことが行政手続きのデジタル化推進を妨げる一つの要因となっていたことから、政府は法制化に向けた準備作業を進め、今年6月に戸籍法が改正されました。氏名の読み方に法的な根拠を与えることで、行政手続きの利便性が向上し、官民間問わず様々なサービスにおいて本人確認事項として活用できるようになります。今回の補正予算では振り仮名を記載できるよう戸籍等関連システムの改修費を計上しておりますが、法施行後には市内に本籍を有する方々に対して、氏名の振り仮名に関する確認手続きを行う予定です。

そのほか、今年度、行政のDXの推進として職員用ノートパソコンの導入を行っていますが、あわせて大画面モニタを整備することで業務効率の向上を図ります。

次に「安全安心なまちづくり」についてであります。

昨年度末をもって廃止しました市営新川駐車場ですが、現在、河口側から撤去工事を実施しています。撤去にあわせ、愛媛県が護岸嵩上げ工事を実施することから、護岸嵩上げ工事完了後、続けて転落防止柵の本設工事を実施することで歩行者の安全確保を図ります。

また、住民から要望のありましたがけ崩れ防災対策工事について、来年度、工事着手できるよう測量設計のための予算を計上したほか、市長をかこむ会等、年々修繕依頼が増加傾向にある市道や里道などの維持管理についても予算を追加して、未施工箇所を解消を図ります。

そのほか、昨年9月の台風第14号により被災した西町漁港の浮棧橋等について災害復旧工事に併せ、今後の維持管理に関する経費の削減を図るためアンカーチェーン等の更新工事を実施します。

次に「暮らしやすいまちづくり」についてであります。

人口減少対策を推進するため、本市では愛媛県が今年度創設した「えひめ人口減少対策総合交付金」を活用し、結婚新生活支援事業、不妊治療費等補助事業、若年出産世帯応援事業などを実施しています。今回さらに若年出産世帯奨学金返還支援事業、多子世帯リフォーム等支援事業、ひめボス宣言事業所認証支援事業の3事業を追加し、妊娠・出産支援及び子育て支援策を拡充することで取組の強化を図ります。

また、9月議会の閉会挨拶において表明しました18歳までの医療費無償化につきまして、来年4月からの開始に向け、準備作業を進めます。

そのほか、旧八幡浜市立図書館保存検討委員会に取りまとめられた報告を受け、松村

正恒氏設計の建物の一つである旧八幡浜市立図書館を文化活動センター西側の敷地内に再築するための実施設計に係る予算を計上しています。

最後に「産業振興の取り組み」についてであります。

中国政府による国産水産物の輸入禁止措置によって、魚市場で水揚げされる水産物の魚価が下落しているため、影響のある水産物を学校及び保育所の給食食材として提供することで地域漁業の下支えを図ります。

また、6月議会の「八幡浜市企業等誘致促進条例の一部改正」に併せ、制度を拡充した創業等支援事業補助金について、好評により既に交付申請額が当初予算額に達していますが、創業について多数の相談を頂いていることから予算を増額し対応します。

そのほか、八幡浜ちゃんぽんカップ麺を製造する民間事業者が企画された凄麺総選挙において、並み居るご当地カップ麺をおさえ八幡浜ちゃんぽんが見事1位に選ばれました。その勢いに乗って、次は、実際の八幡浜ちゃんぽんを食べに本市に足を運んでもらう企画を実施します。

以上が、12月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	2億3,020万4千円の追加
特別会計（5会計）	690万8千円の減額
<u>企業会計（4会計）</u>	<u>2億2,845万1千円の追加</u>
合計	4億5,174万7千円の追加を、ご提案申し上げるものです。

増額した事業の財源といたしましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。